

あおもり
の

農林水産業

The Agriculture, Forestry and
Fisheries of Aomori Prefecture

2026



全国第1位の農林水産物



りんご



にんにく



ごぼう



ヒバ



イカ類



採卵鶏

全国第2位の農林水産物



ホタテガイ



ヒラメ



クロマグロ



ながいも



西洋なし



豚

地域の特産品



嶽きみ



たっこにんにく



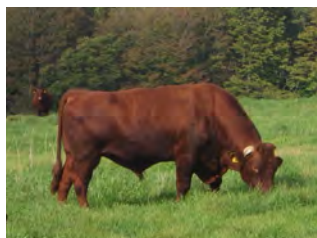
南部太ねぎ



屏風山西瓜



一球入魂かぼちゃ



短角牛



風間浦鮫鰯



横浜ナマコ



青森シャモロック

地理的表示(GI)登録の農林水産物



あおもりカシス



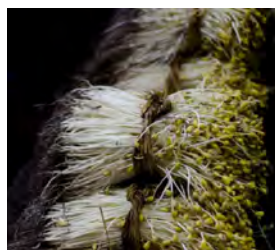
清水森ナンバ



十三湖産大和しじみ
小川原湖産大和しじみ



つるたスチューベン



大鰐温泉もやし



青森の黒にんにく

地理的表示(GI): その地域ならではの自然的、人文的、社会的な要因の中で育まれてきた品質、社会的評価等の特性を有する産品の名称を、地域の知的財産として保護する制度

Contents

農林水産業の姿	… 1
青森県の姿	… 1
青森県の気象	… 2
経済の中での位置づけ	… 3
農業経営体	… 3
食料供給県としての本県の位置	… 4
農林水産業の生産概要	… 4
農業	… 5
米	… 6
野菜	… 7
花き	… 8
りんご	… 9
特産果樹	… 10
畜産	… 11
森林・林業	… 13
水産業	… 15
流通販売	… 17
地産地消	… 18
農林水産業の担い手	… 19
農林水産業の基盤整備	… 21
Webによる情報発信	… 22
普及指導拠点 と産業技術センター	… 24
データ集	… 26

豊富な資源と地域特有の

青森県の姿

青森県は、三方を海に囲まれ、内湾である陸奥湾があり、海岸線総延長は約800kmに及びます。

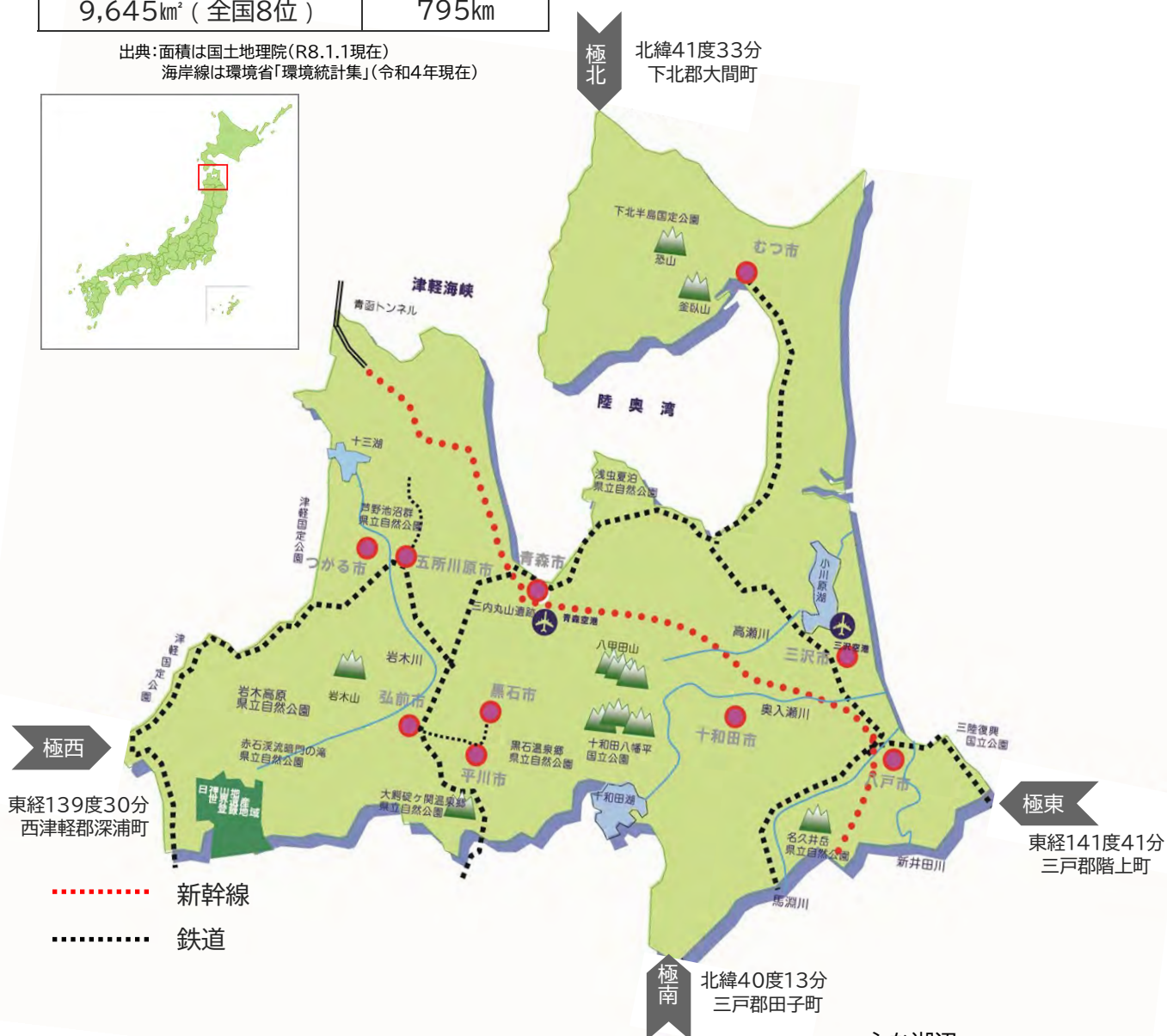
県全体の66%が森林で、南西部にはブナの天然林が分布する広大な白神山地、中央部には八甲田連峰が広がっています。これら山々を起点とする「きれいな水」が、約1万1千kmに及び水路ネットワークを経て、津軽平野や三本木原台地を始めとした広大な農地の生産を支えています。



面積

総面積	海岸線総延長
9,645km ² (全国8位)	795km

出典：面積は国土地理院(R8.1.1現在)
海岸線は環境省「環境統計集」(令和4年現在)



主な山岳

岩木山	1,624m
八甲田山(大岳)	1,584m
八甲田山(高田大岳)	1,559m

出典：国土地理院

主な河川

馬淵川	142.4km
岩木川	101.6km
新井田川	78.1km
奥入瀬川	70.7km

出典：県河川砂防課

主な湖沼

小川原湖	61.96km ²
十和田湖	61.10km ²
十三湖	17.81km ²

出典：国土地理院

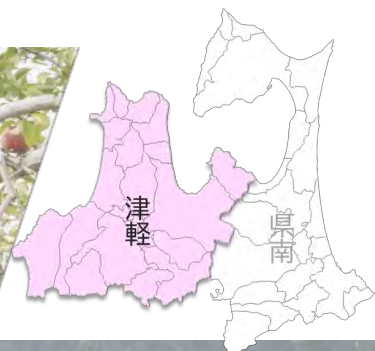
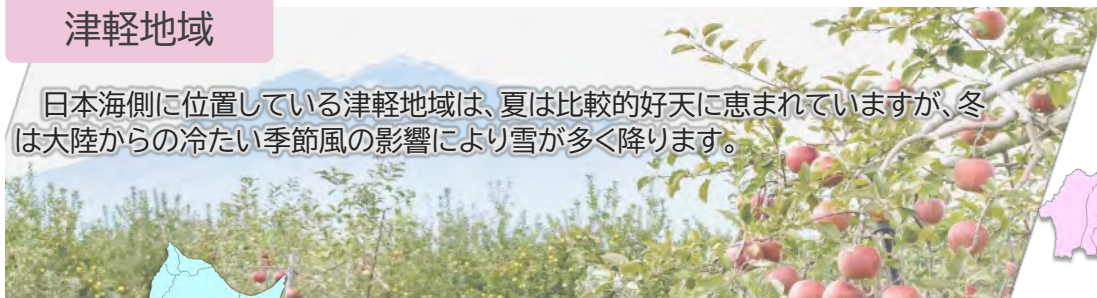


青森県の気象

青森県は、海流の影響と、奥羽山脈が二分している地形などから地域によって気候が大きく異なります。

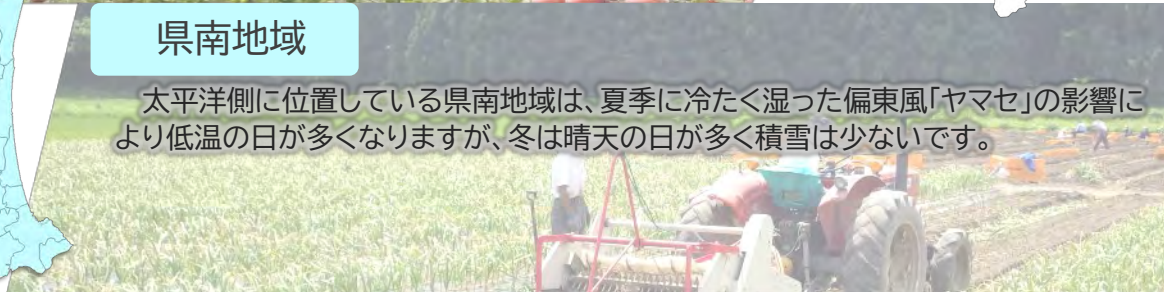
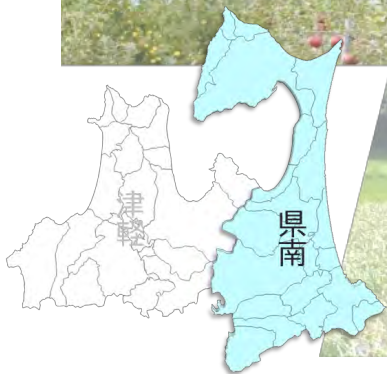
津軽地域

日本海側に位置している津軽地域は、夏は比較的好天に恵まれています、冬は大陸からの冷たい季節風の影響により雪が多く降ります。

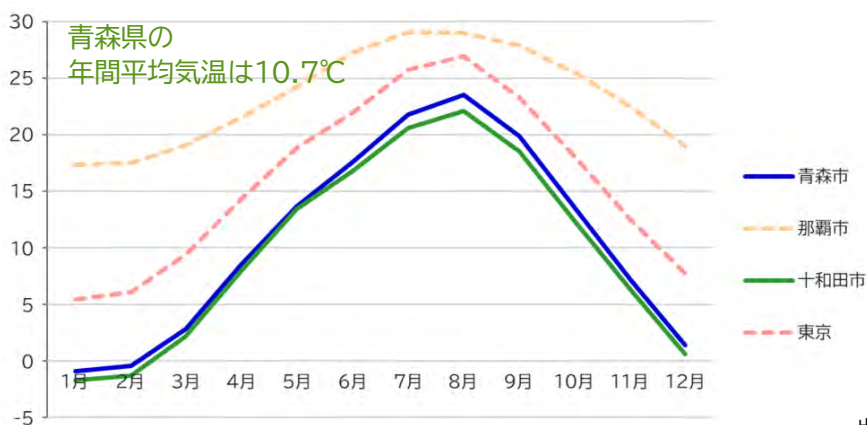


県南地域

太平洋側に位置している県南地域は、夏季に冷たく湿った偏東風「ヤマセ」の影響により低温の日が多くなりますが、冬は晴天の日が多く積雪は少ないです。



月平均気温(℃)比較(1991～2020年)



出典:気象庁

青森市と十和田市の月降水量・月積雪深の比較(1991～2020年)



出典:気象庁



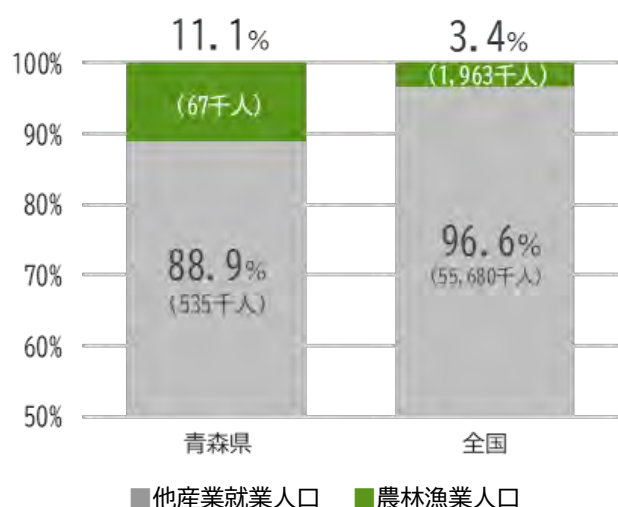
経済の中での位置づけ

本県の農林水産業は、生産にとどまらず、販売や流通をはじめ、食品加工や観光など幅広い産業と結び付き、県内経済の振興や雇用創出の面でも、大きな役割を果たしています。

本県の全就業人口に占める農林漁業者の割合は11.1%であり、全国平均の3.4%と比べて、高い水準となっています。

また、県内総生産に占める第1次産業の割合は4.6%で、全国平均の0.9%と比べ高い水準となっています。

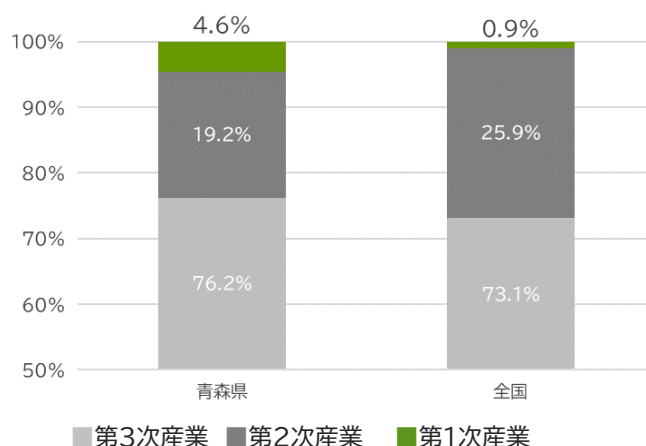
就業人口に占める農林漁業人口の割合(令和2年)



出典: 令和2年国勢調査

産業別総生産構成割合

(青森県: 令和5年度、全国: 令和5年(暦年))



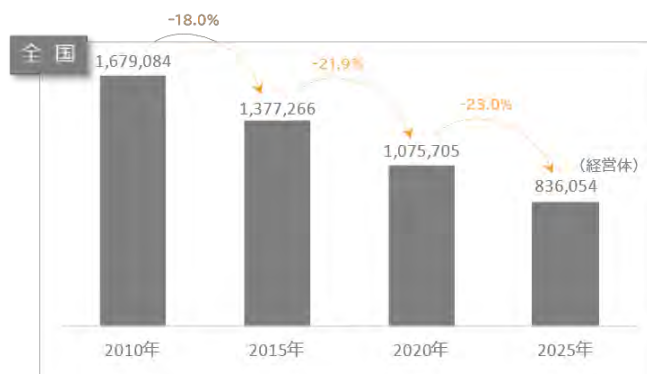
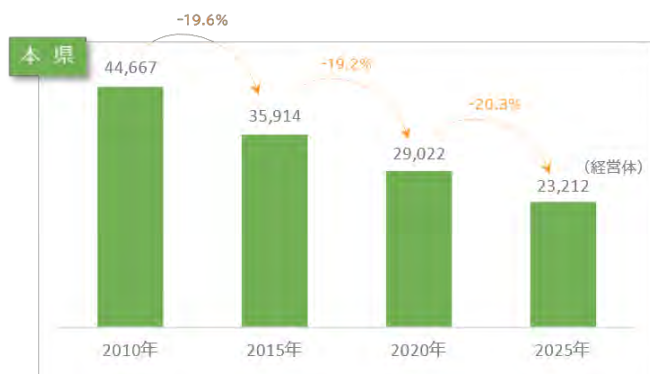
出典: 青森県県民経済計算、国民経済計算

農業経営体

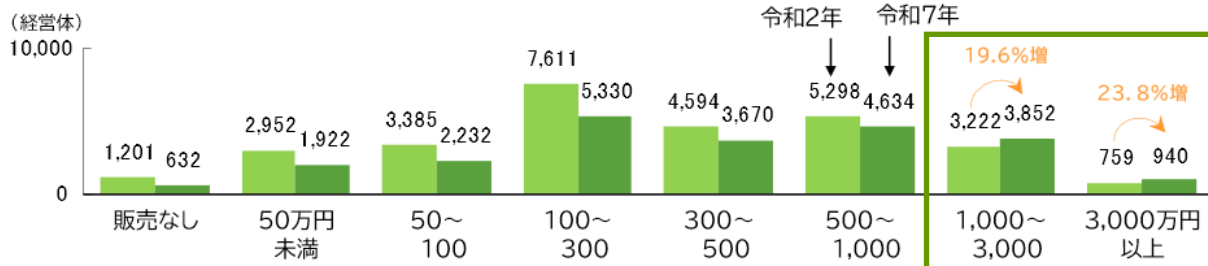
本県の農業経営体数は23,212経営体で、減少傾向にあります。(直近5年間の減少率20.0%)

一方で、株式会社や合同会社などの法人経営体が増加しているほか、農産物販売金額規模別では、1,000万円以上の比較的大規模な経営体が増加しています。

農業経営体数(令和7年)



農産物販売規模別経営体数(令和7年)





食料供給県としての本県の位置

本県の食料自給率はカロリーベースで全国第4位(123%)、生産額ベースで全国第3位(229%)となっています。
 また、県境を越えた取引の収支を示す県際収支は1,215億円で、国内でも有数の食料供給県としての地位を築いています。

食料自給率:カロリーベース(令和5年度概算値)

1位	2位	3位	4位	5位	全国
北海道	秋田	山形	青森	新潟	
213 (前年比▲4)	202 (+6)	148 (+3)	123 (+7)	114 (▲3)	38 (0)

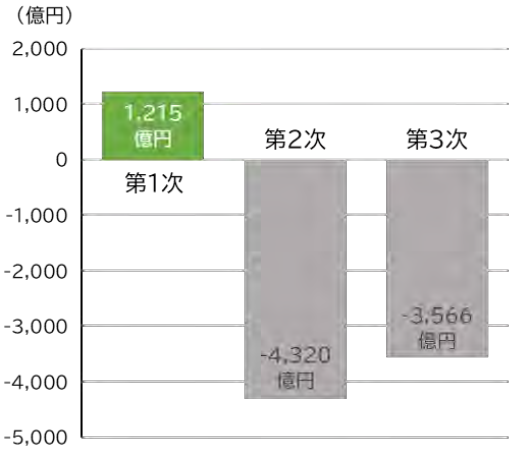
出典:食料需給表

食料自給率:生産額ベース(令和5年度概算値)

1位	2位	3位	4位	5位	全国
宮崎	鹿児島	青森	北海道	岩手	
267 (前年比+12)	261 (+6)	229 (+12)	204 (+4)	195 (+18)	61 (+3)

出典:食料需給表

産業別県際収支(令和7年)



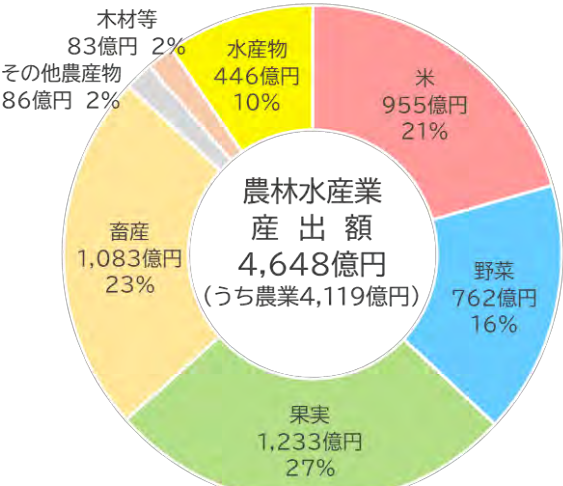
出典:県統計分析課「令和2年青森県産業連関表」

農林水産業の生産概要

本県の令和6年の農業産出額は、4,119億円で、全国で第5位、東北で第1位(21年連続)となっています。本県の農業は、生産量が多いだけでなく、「青天の霹靂」をはじめとする米や全国の生産量の約6割を占めるりんご、全国一の生産量を誇るにんにく、ごぼうなどの野菜のほか、様々な畜産物が各地でバランス良く生産されていることが特徴です。

林業産出額は近年減少傾向で、令和6年は83億円、木材の生産量は全国第8位です。
 漁業・養殖業産出額は近年減少傾向で、令和6年は446億円、海面漁業・養殖業の総生産量は全国で第14位です。

本県の農林水産業産出額構成比(令和6年)



出典:生産農業所得統計、県林政課、漁業・養殖業生産統計

本県農業産出額の全国順位(令和6年)

順位	都道府県名	農業産出額(億円)
1	北海道	14,817
2	鹿児島	5,689
3	茨城	5,494
4	千葉	4,533
5	青森	4,119
6	熊本	4,116
7	宮崎	3,725
8	愛知	3,551
9	栃木	3,448
10	岩手	3,269

出典:生産農業所得統計

農業

地域の特性を生かした農業が営まれています。

津軽地方では、米やりんご、県南地方では、野菜や畜産物が多く生産されています。

耕地面積は14万7,300haで、田が53%、普通畑が24%、樹園地が15%、牧草が9%となっています。



田



樹園地

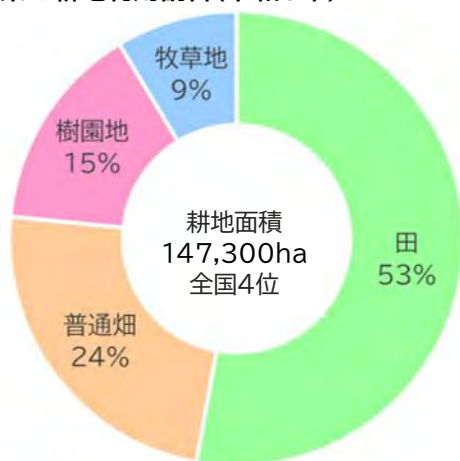


畑



ライムギと飼料用とうもろこしの
二毛作(ライムギ)

青森県の耕地利用割合(令和6年)



出典: 耕地及び作付面積統計
※四捨五入のため、各要素の合計は100%とならない

耕地面積の大きい都道府県(令和6年)

順位	都道府県名	耕地面積(ha)
1	北海道	1,138,000
2	新潟	166,500
3	茨城	158,300
4	青森	147,300
5	岩手	146,000

出典: 耕地及び作付面積統計

農業の全国ランキング

1	りんごの生産量	第1位	令和6年
2	にんにくの生産量	第1位	令和6年
3	ごぼうの生産量	第1位	令和6年
4	採卵鶏の飼養羽数(1戸当たり)	第1位	令和6年
5	豚の飼養頭数(1戸当たり)	第2位	令和6年
6	ながいもの生産量	第2位	令和6年
7	西洋なしの生産量	第2位	令和6年
8	だいこんの生産量	第3位	令和6年
9	かぶの生産量	第3位	令和6年
10	食料自給率(生産額ベース)	第3位	令和5年
11	にんじんの生産量	第4位	令和6年
12	ブロイラーの飼養羽数(1戸当たり)	第4位	令和6年
13	耕地面積	第4位	令和6年
14	牧草の作付面積	第4位	令和6年
15	食料自給率(カロリーベース)	第4位	令和5年
16	たばこ耕作面積	第5位	令和6年
17	メロンの生産量	第7位	令和6年
18	ばれいしょの生産量	第8位	令和6年
19	ピーマンの生産量	第8位	令和6年

青森はおいしいお米の産地である

令和7年産の米の収穫量は全国10位(全国シェア3.6%)、10a当たり収量は全国2位(619kg)となっています。

「青天の霹靂」は平成27年のデビュー以来、全国各地で積極的なPR活動を展開してきたほか、8年連続で特A評価を取得したことなどにより、あおもり米全体の評価が高まってきています。

令和5年産からは「はれわたり」が新たに加わり、「青天の霹靂」「まっしぐら」とともに、それぞれの特徴を生かした新たな需要獲得を目指しています。



適度な弾力があり粘り気が少なく、あっさりとした味わいが特徴で、県外を中心に多様な需要に応えることができるあおもり米の大黒柱です。



粘りとキレのバランスが良く、上品な甘みに残るさっぱりとした味わいが特徴です。おいしさを重視した作り方や出荷基準を設け、津軽地域の条件の良い地域で生産しています。

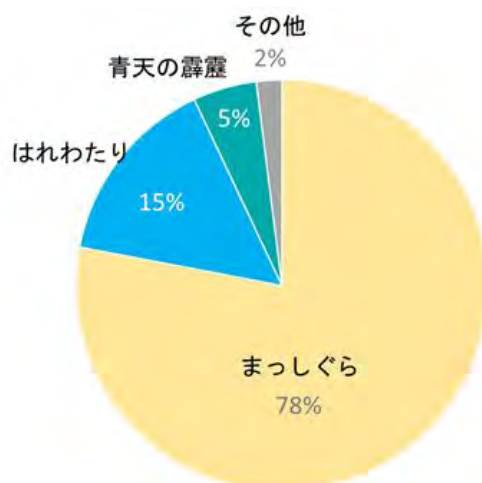


炊き上がりに白く光を放つ美しい外観と、しっかりとした粒立ちが特徴で、高温などが原因で米に割れが生じる胴割やいもち病に強い特性を持っています。

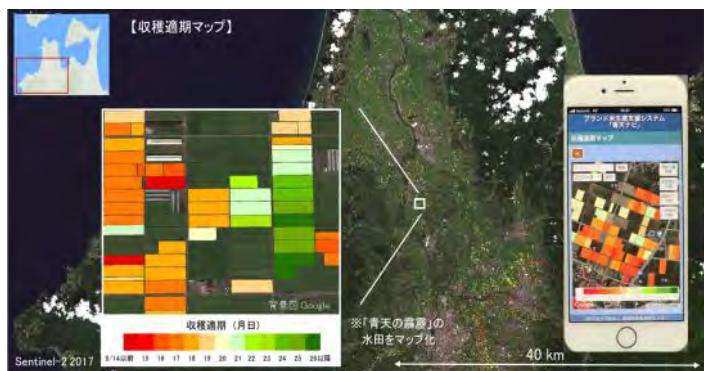
「青天の霹靂」の良食味・高品質生産のため、衛星画像からほ場ごとの水田の生育状況をデータ化するシステム「青天ナビ」を活用し、生産指導に活用しています。

令和6年度からは、このシステムを応用し、「まっしぐら」と「はれわたり」の収穫適期マップの試験運用を開始しました。

品種の作付面積割合(令和7年産)



出典: 県農林水産部



「はれわたり」が特A評価を4年連続で取得

一般的に1つのお米の品種を開発するまでには、最短でも10年の歳月を要するとされています。青森県の新品種「はれわたり」は、平成21年に育成をスタートし、13年の歳月をかけて県産業技術センターが開発しました。

令和5年11月3日に全国デビューし、4年連続で特A評価を取得しました。

生産者のこだわりと豊かな自然が育んだ

自慢の野菜が勢ぞろい

青森県は、肥沃な土壌と夏季の涼しい気候を生かし、多くの野菜が生産されています。

野菜全体の産出額は東北1位で、出荷量全国ベスト10に12品目が入っています。

主力の「ながいも」「ごぼう」「にんにく」は貯蔵施設の活用等により、ほぼ周年で出荷されているほか、「トマト」「ミニトマト」は東京都中央卸売市場における8月入荷量でシェア4位、2位となっています。



にんにく

国内出荷量の約7割を占めています。青森県のにんにくは、大玉で一片が大きく、実が引き締まっていることが特徴です。品質の良いにんにくを通年で供給しています。



ごぼう

日本一の出荷量を誇り、国内出荷量の約4割を占めています。青森県のごぼうは、香りと風味がよく、シャキシャキとした食感が特徴です。



ながいも

国内出荷量の約4割を占めています。青森県のながいもは、色白で粘りが強く、柔らかい肉質とアクが少ないことが特徴です。



だいこん

国内出荷量は全国第3位です。全国的には秋冬中心ですが、青森県では、冷涼な気候を利用して夏場から安定的に出荷しています。



こかぶ

国内出荷量は全国第3位です。青森県の主力はこかぶで、品質管理を徹底し、鮮度がよいと好評を得ています。生で食べると、瑞々しさとほのかな甘みがあることが特徴です。



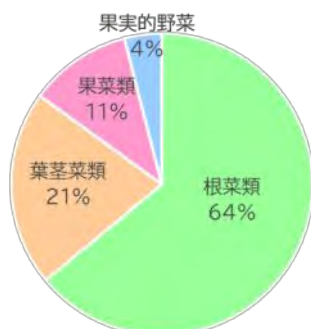
にんじん

国内出荷量は全国第4位です。青森県のにんじんは、夏から秋にかけての出荷が中心で柔らかくて甘味があることが特徴です。

野菜の出荷量全国ランキング(令和6年)

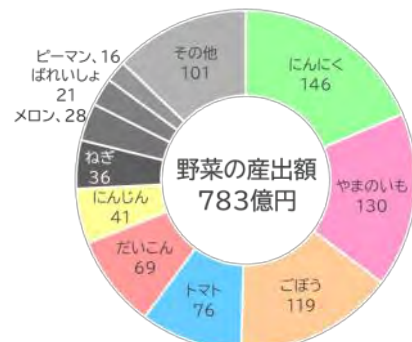
品目	順位	全国シェア
1 にんにく	第1位	67%
2 ごぼう	第1位	42%
3 ながいも	第2位	35%
4 だいこん	第3位	11%
5 かぶ	第3位	6%

県産野菜の類別作付面積(令和6年)



出典：農林水産省統計

県産野菜の産出額内訳(令和6年)



出典：農林水産省統計 ※産出額には「いも類」を含む。

主な野菜の旬カレンダー

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ながいも												
にんにく												
だいこん												
にんじん												
ごぼう												
こかぶ												
ばれいしょ												
ねぎ												
キャベツ												
メロン												
かぼちゃ												
トマト												



アルストロメリア



キク



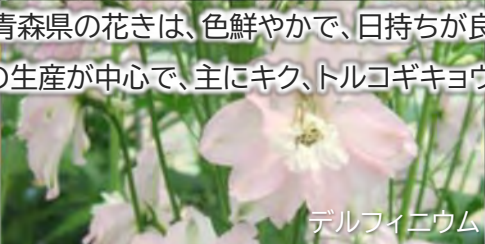
トルコギキョウ

夏秋期に咲き誇る、あおもりの花

夏の涼しい気候で育った青森県の花きは、色鮮やかで、日持ちが良いと評価を得ています。青森県では、「切り花類」の生産が中心で、主にキク、トルコギキョウなどが生産されています。



ヒマワリ



デルフィニウム



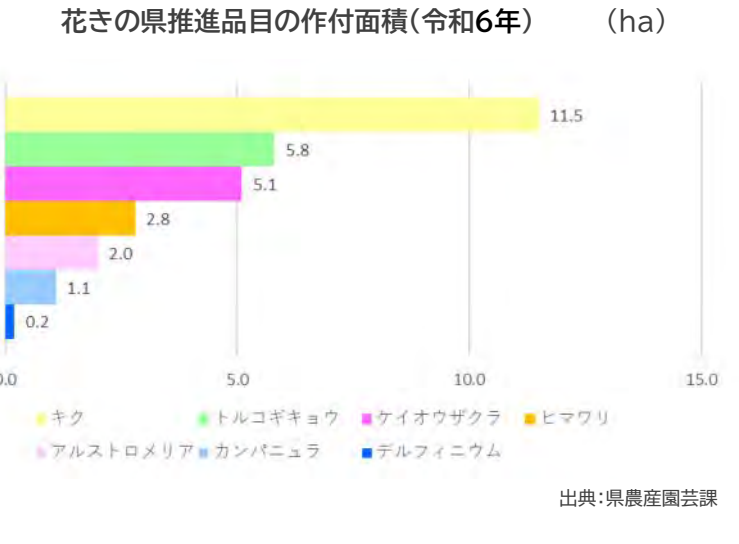
ケイオウザクラ



フラワーアレンジメント教室

県産花きの魅力を広く紹介し、消費の拡大を図るため、あおもりフラワーフェスティバルを開催しています。

フェスティバルでは、県産花きに親しんでもらえるよう、県産花きを中心としたフラワーアレンジメントの展示やフラワーアレンジメント教室などを行っています。





◇野菜トピックス【ながいも新品種「夢雪」について】

令和6年3月に品種登録出願したながいも新品種「夢雪」は、従来の品種よりいもの長さが短く、平いものが少ない品種です。近年、夏場の高温により、いもの形状が長くボリューム不足になるため、コンパクトな形状により、収穫時の折れ・破損等の軽減や掘り取り労力の軽減が期待されます。



◇花きトピックス【フラワーウィークについて】

県産花きの消費拡大を図るため、県内の花販売店等と連携し、県産花きを主体としたフラワーアレンジメントの販売促進キャンペーン「あおもりフラワーウィーク」を6月から9月にかけて実施し、花のある暮らしを提案しながら、県産花きの魅力を伝えています。

世界に誇る青森りんご

青森りんごの生産量は約37万トンで、全国りんご生産量の約6割を占め、約21万トンが県外に出荷されています。

県内には、およそ680棟の貯蔵施設が整備され、冷却貯蔵に加えて、酸素と炭酸ガス濃度を調整してりんごの呼吸を抑制する「CA貯蔵」により、ほぼ周年で出荷が可能となっています。



光センサー選果機によるりんごの選果



普通栽培



高密度栽培

従来の栽培方法に加え、樹形がコンパクトで早期から多くの収穫量が見込める高密度栽培の取組も増えています。

りんごの生産量

令和6年産の青森りんごの生産量は370,500トンで、全国生産量の約6割を占めています。

りんごの主な品種

早生種



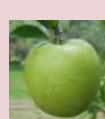
つがる

中生種



紅玉

晩生種



王林



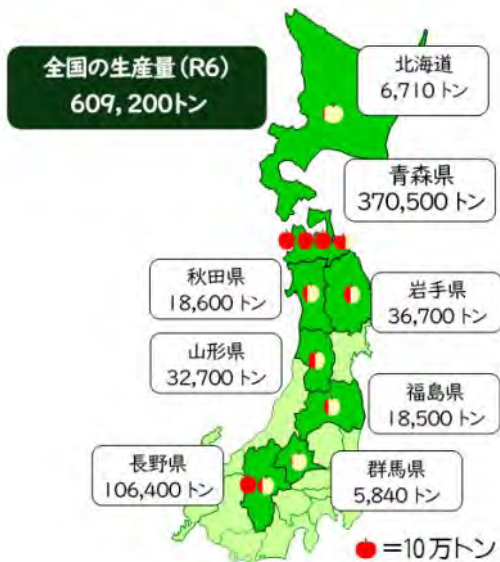
トキ



ジョナゴールド

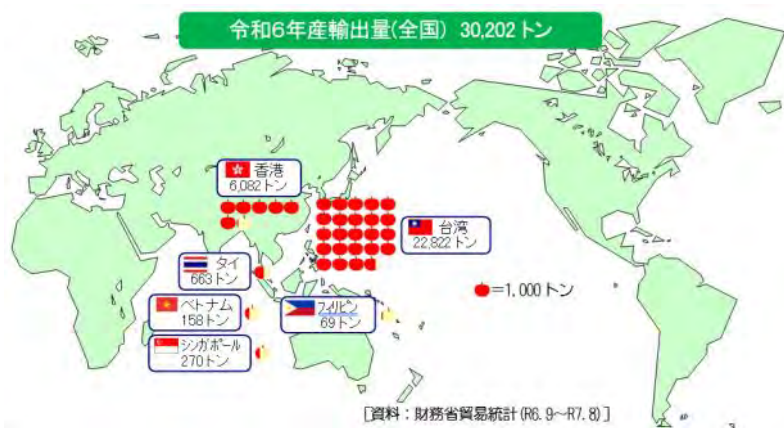


ふじ



青森りんごの輸出先

令和6年産の日本からのりんご輸出量は約3万トンで、そのうち約76%が台湾に輸出されています。



地域で味わう季節の魅力、

青森フルーツ

青森県には、りんごの他にも全国第1位の収穫量を誇るカシスやあんず、生産量第2位の西洋なしなど、多様な特産果樹が生産されています。

特に食味が良く大玉なさくらんぼ「ジュノハート」、熟すと黄金色で独特な芳香を有する西洋なし「ゼネラル・レクラーク」、年明けまで販売可能なぶどう「スチューベン」は高い評価を得ています。



さくらんぼ(ジュノハート)

県産業技術センターが開発し、平成25年に品種登録された県オリジナル品種の「ジュノハート」は、500円玉より大きく国産では最大級の品種です。

糖度は約20度で、甘みが強く酸味が少ないことが特徴です。果肉がしっかりしていて適度な果汁があり、優れた食味と美しい外観から贈答品として最適なさくらんぼです。



西洋なし(ゼネラル・レクラーク)

青森県の南部町がいち早く産地化に取り組んだフランス原産の西洋なし「ゼネラル・レクラーク」は、独特な芳香を有し、ジュシーでなめらかな舌触りが特徴です。



ぶどう(スチューベン)

ぶどうは、特産果樹で最も栽培面積と生産量が多くなっています。

県産で最も生産量の多いスチューベンは、ニューヨーク生まれの品種で、鶴田町などで栽培されており、本県の栽培面積は全国の約7割を占めています。酸味が少なく濃厚な甘みの特徴です。

特産果樹の生産量全国ランキング

1 カシス	第1位	令和4年
2 あんず	第1位	令和4年
3 西洋なし	第2位	令和6年
4 さくらんぼ	第4位	令和2年
5 もも	第7位	令和6年
6 ぶどう	第8位	令和6年

主な果樹の旬カレンダー

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
りんご(ふじ)												
りんご(王林)												
りんご(紅玉)												
なし(和)												
なし(洋)												
ぶどう(キャンベル)												
ぶどう(スチューベン)												
うめ・あんず												
さくらんぼ												
もも												
ブルーベリー												

豊かな自然にはぐくまれた

畜産物

夏季冷涼な気候と、全国有数の飼料穀物コンビナートが立地している優位性を生かし、県内各地で畜産業が盛んです。

畜産の産出額は1,083億円で、本県農業産出額の上位10品目のうち、豚、鶏卵、ブロイラー、肉用牛及び生乳の5品目が占めています。

本県の畜産は、採卵鶏の1戸当たりの飼養羽数が全国第1位、豚の1戸当たりの飼養頭数が全国第2位となっているなど、大規模化が進んでいます。



畜産産出額の内訳(令和6年)



豚

3種類の品種をかけあわせた三元豚という豚が多く飼育されており、代表的な組み合わせは、ランドレース種、大ヨークシャー種、デュロック種です。



採卵鶏

卵の生産を目的に飼育される鶏で、代表的な品種として、白色レグホン、ポリスブラウン、ジュリアなどがあります。



ブロイラー(肉用鶏)

肉用に改良された鶏で、短期間(40～50日程度)で出荷され、国内で最も多く流通している肉用の鶏です。

あおり牛(肉用牛)

県内で生産されている黒毛和種や日本短角種、乳用種及び交雑種などの牛の総称で、青森県の冷涼な気候と広大な自然環境のもと、公共牧場などの豊富な草資源を生かして育てられています。



あおり和牛(黒毛和種)

あおり牛のうち、黒毛和種を「あおり和牛」と称しています。

適度な甘みと口の中であまりける脂身の旨味が特徴です。

あおり短角和牛(日本短角種)

あおり牛のうち、日本短角種を「あおり短角和牛」と称しています。



全国和牛能力共進会(全共)

全共は「和牛のオリンピック」と呼ばれ、和牛の日本一を決めるため、5年に一度、開催される「和牛の祭典」です。次回は令和9年に北海道で開催され、全国の優秀な和牛を一堂に集めて、その能力を競います。



審査は雄牛、雌牛の姿・形を審査する「種牛の部」と肉質等を審査する「肉牛の部」、また、和牛を飼養する高校・農業大学校からの出品を対象とした特別区を設け、若い担い手の育成を目指しています。

令和4年度に開催された鹿児島県全共では、「肉牛の部」において、本県の出品牛が、特別賞(脂肪の質と形状賞)を獲得しました。



としゅうふく 本県期待のエース種雄牛「寿優福」

「寿優福」は、父が「優福栄」、2代祖が「第1花国」と本県の名牛を2代重ねて交配して造成された本県15番目の基幹種雄牛です。

令和7年度あおり和牛共励会をはじめ、県内外の共進会で優秀な成績を残しており、令和9年度開催の北海道全共でも大きな期待が寄せられています。

森を育てる 森を引き継ぐ

日本三大美林のヒバ林、白神山地のブナ林、県南のアカマツ、スギ人工林など多様な森林が県土面積の66%を占めています。

このうち、天然ヒバの資源量は全国の約8割を占めており、スギ人工林の面積は、全国第4位の約20万haとなっています。

林業の全国ランキング

1 天然ヒバの資源量	第1位	令和5年
2 スギ人工林面積	第4位	令和4年
3 素材(丸太)生産量	第6位	令和4年
4 森林面積	第9位	令和4年



スギ

青森県のスギの資源量は全国有数。冬の厳しい寒さに何十年も耐えて育った青森のスギは、美しい木目と柔らかな色合いが特徴です。肌触りも良く、建築物のほか、家具や建具にも使われ、全国に流通しています。



ヒバ

青森県には、「木曽ヒノキ」「秋田スギ」と並ぶ日本三大美林の一つである「青森ヒバ」の天然林が広がっており、主に津軽半島と下北半島に分布しています。抗菌、防腐、防虫効果がある成分「ヒノキチオール」が含まれ、木材の優等生と言われています。すがすがしい香りは、心身をリラックスさせてくれます。

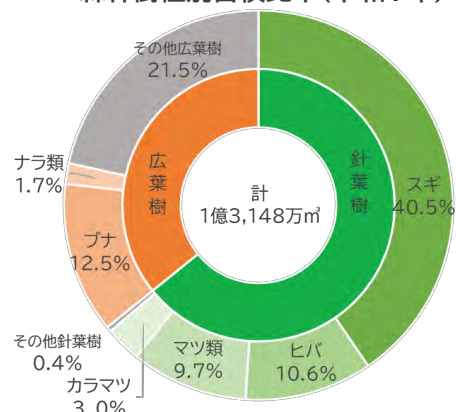


アカマツ

「南部アカマツ」は、その名の通り主に県南地方に分布しています。曲げ強度が高く、梁に最適です。

粘り強さや曲がりの美しさを活かし、神社や仏閣といった歴史的建造物にも使われています。年月が経つにつれて上品なあめ色に変化していくのも、大きな特徴の一つです。

森林樹種別蓄積比率(令和7年)



出典:青森県森林資源統計書



青森きくらげ栽培試験

特用林産物の生産

青森県では、しいたけやなめこ、まいたけなどのきのこや、うど、タラの芽、ウバミソウなどの山菜が生産されています。

特用林産物の生産額の約8割は、きのこ類が占めています。



伐って

青森県の森林は、戦後に造林された人工林を中心に本格的な利用期を迎えています。森林の伐採を効率的に行うため、航空レーザを活用した森林資源の解析の実施や高性能林業機械の導入を支援しています。

使って

青森県では、県内で生産・加工し、利用される「オール青森」の木材を「A-wood」と称し、住宅や公共施設への利用を推進しています。

「あおり産木材活用建築コンテスト」や県産木材を活用した公共施設見学会を開催し、「A-wood」の利用促進に努めています。



県産材建築物（R7あおり産木材活用建築コンテスト最優秀賞）



植えて

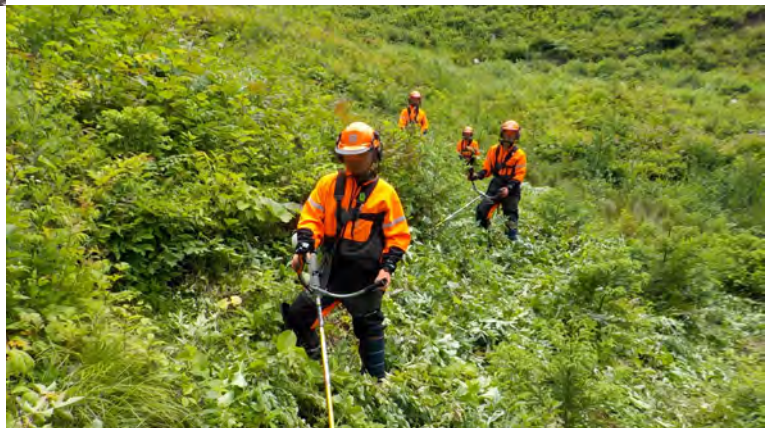
造林に要する森林所有者の負担が大きいことなどが原因で、全国的に再造林が行われない伐採跡地が増加しています。

青森県では、造林コスト等を低減するため、造林作業の効率化等が図られるコンテナ苗の導入や、伐採から造林までを一体的に行う一貫作業、低密度の植栽などを促進しています。

育てる

森林は、適切に管理を行わなければ二酸化炭素の吸収や、水源のかん養などの公益的な機能が低下します。

青森県では、造林後の森林を適切に管理するため、植栽した木を成長させるための下刈りや、成長した木を間引く間伐などの森林整備作業を支援しています。



青森県オリジナル品種「青森きくらげ」の生産が拡大

県産業技術センターが開発し、令和2年7月10日にデビューした県オリジナルのきくらげ新品種「青森きくらげ」は、年々生産量が増加しています。

輸入の乾燥品が多い中で、夏季を中心に、主に生で流通する青森きくらげは、肉厚で歯ごたえが良く、コリコリとした食感が特徴です。香りに癖がないので、どんな料理にも良く合います。



豊かな水産資源を次世代へつなげる

青森県の沿岸は、広い砂浜や複雑な岩場があり、様々な魚介類や海藻などが生息しています。

寒流と暖流が混じり合う太平洋、暖流の影響を強く受ける日本海、津軽海峡、大型の内湾である陸奥湾という「4つの海」を持ち、それぞれが良い漁場となっています。

また、十和田湖、十三湖、小川原湖を中心とした内水面での漁業も行われています。

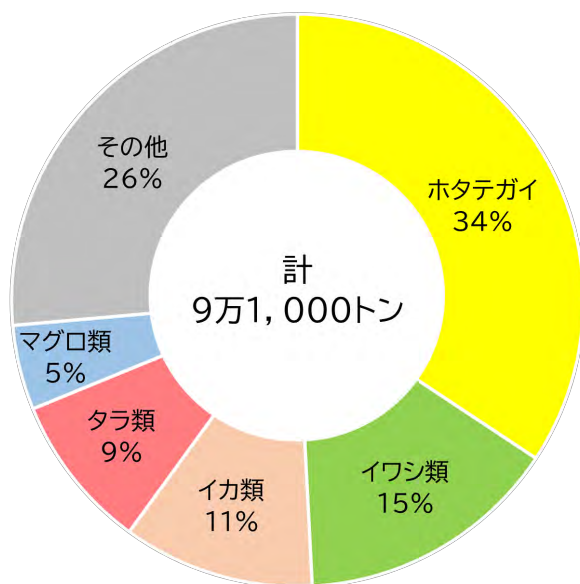
漁業生産

令和6年の本県海面漁業・養殖業の生産量は、漁業が5万7,000トン、養殖業が3万4,000トンで、産出額は漁業が347億円、養殖業が99億円となっています。

魚種別の生産量は養殖等によるホタテガイが最も多く、次いでイワシ類となっています。

内水面漁業・養殖業の生産量は3,200トンとなっており、魚種別ではシジミの生産量が最も多くなっています。

本県海面漁業・養殖業の魚種別生産量の構成割合(令和6年)



出典: 漁業・養殖業生産統計

水産業の全国ランキング(令和6年)

【海面】

1 スルメイカの漁獲量	第1位
2 アカイカの漁獲量	第1位
3 ホタテガイの生産量	第2位
4 マダラの漁獲量	第2位
5 クロマグロの漁獲量	第2位
6 ヒラメの漁獲量	第2位
7 ナマコ類の漁獲量	第2位
8 ホッケの漁獲量	第2位

【内水面】

1 ワカサギの漁獲量	第1位
2 ウグイ・オイカワの漁獲量	第1位
3 コイの漁獲量	第1位
4 シジミの漁獲量	第2位

出典: 漁業・養殖業生産統計

資源管理に取り組んでいます

青森県では、ヒラメやウスメバル、ミズダコ、ナマコなどの魚介類について、親になる魚などを残すため、漁獲可能な時期や大きさ、場所などを設定し、水産資源を守る活動に取り組んでいます。また、クロマグロは国際的な取り決めにより、スルメイカ等は国内での取り決めにより、漁獲量を制限するなど資源管理が厳しく行われています。



増養殖

近年、海洋環境の変化などにより全国的に漁獲量が減少していることから、獲る漁業からつくり育てる漁業への転換が必要となってきています。

このため、青森県では、県の魚ヒラメやサケ、アイナメなどの稚魚を県内各地で放流しているほか、陸奥湾のホタテガイをはじめ、コンブ、ホヤ、ワカメなどの養殖も行われています。



ホタテガイ

全国第2位の生産量を誇る青森ほたては、下北半島と津軽半島に囲まれた陸奥湾で育ち、引き立つような甘味と貝柱の厚みが特徴の成貝と、小ぶりながらもうまみの強い半成貝(ベビーホタテ)として出荷されています。

陸奥湾ホタテガイ養殖について、安定生産と加工等を含む成長産業化を実現するため、令和7年6月に「陸奥湾ホタテガイ総合対策」を策定しました。

サーモン

県産業技術センターが15年かけて開発したご当地サーモン^{くれない}「青い森 紅 サーモン」は、美しい紅色の身と程よい脂のりで、上品な味わいが特徴です。また、県内で生産される「海峡サーモン」、「青森サーモン」のいずれも、身の締まりと上質な脂のりで高い評価を受けています。



ナマコ

ナマコは青森県のほとんどの地域で漁獲されていて、中でも、陸奥湾のナマコは、柔らかくおいしいと評価されています。

県内各地で種苗放流を実施しているほか、放流数の増加に向けて漁業者による簡易な種苗生産技術を開発し、その技術普及を行っています。

幻の魚「マツカワ」の養殖に挑戦

青森県では、高級カレイ「マツカワ」の稚魚の量産技術に取り組むとともに、陸上施設などを活用した養殖技術の確立を目指しています。

将来的には、マグロやホタテ、イカなどに続く、青森県の主力魚種に育てることを目指しています。



青森のうまいを 全国・世界へ

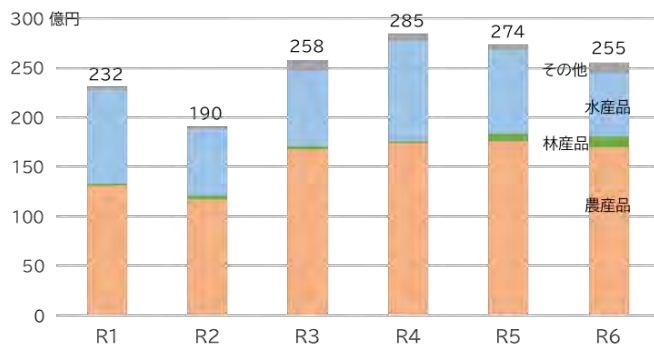
県内関係者が一体となってトップセールスや青森県フェアの開催、バイヤーの産地招請などを重ね、販売先との信頼関係構築に努めています。

近年は、コロナ禍に伴い厳しい販売環境となりましたが、国内量販店等との取引額は安定しており、輸出では、円安に加えて、現地プロモーション等の実施により、コロナ禍前を上回る輸出額で推移しています。



台湾では、りんごの出荷時期を迎える10月と春節前の12月に、主要な百貨店や量販店で試食宣伝を行うとともに、知事やミスりんごによるPRイベントを実施しています。

県産農林水産品の輸出額



<主な輸出品目・輸出先 (R6)>

- ・りんご : 156億円、台湾、香港、タイ
- ・ほたて : 19億円、香港、ベトナム
- ・ながいも : 1億円、アメリカ、台湾、香港

出典: ジェトロ青森「青森県の貿易2025年発行」



コロナ禍に対応したアバターによる県産品のPR

地産地消であおもりを元気に

地産地消



県民運動ロゴマーク

青森県では、地産地消の推進に向けて、県内企業等が連携し、「地産地消で元気あおもり」県民運動を展開しています。

県民運動の発信拠点となる県民運動協力店は、令和7年度で990店となり、県産品利用拡大に大きく貢献しています。

量販店等での県産品PR



県民運動協力店との連携による地産地消キャンペーンの実施



小売店・飲食店等での取扱拡大に向けた マッチング交流会の開催



「だし活+だす活」の店頭PR

「だし活+だす活」の普及拡大に向けた店頭PRや商品開発



学校給食での県産食材使用率
(令和6年度・重量ベース)

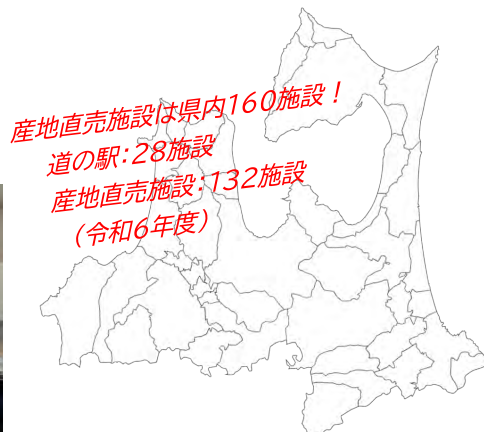
64.8%

学校給食での県産食材利用拡大に向けた研修会の開催



うまい森青いもりフェアへの出店PR

POSレジデータの活用による
産地直売施設の販売力強化



農林水産業の未来を担う若者たち



農業の担い手

営農大学校(卒業生計1,702人)

営農大学校は、県内唯一の実践的な農業研修教育を行う専修学校で、時代や社会のニーズに対応したカリキュラムにより、地域農業の担い手や農業を支える多様な人財を養成しています。

畜産業の担い手

畜産施設見学研修会

畜産の担い手・労働力の確保に向けて、小中学生や高校生等を対象とした施設見学研修会を開催し、就労のきっかけづくりに取り組んでいます。



高校生等を対象とした施設見学研修会



青い森林業アカデミー研修風景

林業の担い手

青い森林業アカデミー(修了生計39人)

令和3年4月から就業希望者を対象に、林業に必要な知識や技術の習得を支援し、地域林業の中核を担う現場技術者を確保・育成しています。

水産業の担い手

ひんようじゅく

賓陽塾での研修(修了者計146人)

漁師を目指す若者たちに、漁業に関する知識や技術を教える「賓陽塾」を開講しています。



賓陽塾における漁業講座

農林水産業で働いてみませんか

青森県で農林水産業に関する就業を考えている方、興味のある方は、以下の相談窓口等へ御相談ください。様々な機関と連携を取りながら、皆様の就業を支援します。

農業で働きたい方



農業労働力ワンストップ相談窓口

(無料職業紹介所)

お問合せ先 **公益社団法人あおもり農業支援センター**

電話番号 **017-773-3131**(担い手支援グループ)

※月曜日～金曜日(祝日除く)8時30分～17時

青森県農業労働力求人マッチングサイト

当サイトでは、勤務地や品目などを検索し、応募したい求人に申込みができます。また、求職者登録により、希望の条件に合った求人情報が掲載され次第、農協からマッチングの案内があります。



<https://www.aomori-agrijob.com/>

畜産業で働きたい方

お問合せ先 **青森県農林水産部畜産課**

電話番号 **017-734-9496**



青森県HP

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/chikusan/ninaite.html>

林業で働きたい方

お問合せ先 **公益社団法人青森県林業会議**

電話番号 **017-732-5288**

林業事業体等の求人情報をまとめたWEBサイト



<https://www.aomoriken-ringyokaigi.info/>

水産業で働きたい方

お問合せ先 **青森県漁業就業者確保センター**

電話番号 **017-734-9592**(県庁水産振興課内)

漁業者になる方法や求人情報をまとめたWEBサイト



<https://www.aomoriryoushi.jp/>

農泊を体験してみませんか

青森県の自然豊かな農山漁村には、心安らぐ田園風景、懐かしい伝統文化、素朴であたたかい人間関係など、都会では失われつつある魅力と潤いに満ちた暮らしが残っています。

農泊とは、このような農村や山村、漁村に滞在して、その地域の豊かな自然や長い歴史に培われた文化、そして人々との触れ合いを楽しむ旅のことで、県内では、農業体験の受入れをはじめ、農家レストラン、農家民宿などさまざまな取組が行われています。



ふるさとの家(五戸町)



農泊を体験したい方は、こちらから

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/kozoseisaku/green-tourism.html>

青森県の農林水産業を支える基盤整備

青森県の魅力あふれる農林水産物を安定的かつ効率的に生産するため、農地や漁港などの生産基盤の整備を行っています。

農地の整備

大区画化した水田



農業・農村の防災・減災、強靱化対策

農業用水の安定的な供給や、頻発化・激甚化する自然災害への対応を強化するため、老朽化している水路や排水機場などを補修・更新しています。

また、ため池の決壊による水災害等から生命・財産・暮らしを守るため、農業用ため池の地震・豪雨対策などに取り組んでいます。

スマート農業や需要等に対応した基盤整備

農地の集積・集約化や畦畔除去等の再整備を含む大区画化のほか、水田の汎用化・畑地化を推進するとともに、スマート農業技術の導入加速化などによる生産性向上に向けた基盤整備に取り組んでいます。

漁港・漁場の整備



漁港の整備

水産業の成長産業化に向けて、近年の激甚化・頻発化する災害リスクへの対応力強化や、養殖を支援する漁港の拡張に加え、静穏な水域確保等に取り組んでいます。

漁場の整備

漁場生産力の強化を図るため、藻場や育成場、魚礁漁場を沿岸から沖合まで一体的に整備しています。



山・川・海をつなぐ健全な水循環の普及

青森県では、県内の小学校や土地改良事業団体連合会と連携して、農業水利施設をめぐる「水の旅」などを開催し、子供たちに農林水産業における健全な水循環の大切さを普及しています。

農林水産業の情報が満載

青森県農業・就農情報サイト

「農ナビ青森」

県内で農業に携わる方やこれから農業を始める方に役立つ農業・就農情報を発信

農業者向けトップページ

(主なコンテンツ)

- 生産情報や気象等の情報提供
- 水稻生育予測機能
- メール配信やSNSによる情報発信



<https://www.nounavi-aomori.jp/farmer/>



就農希望者向けトップページ

(主なコンテンツ)

- 就農支援策等の紹介
- 就農適性診断機能
- 先輩就農者へのインタビュー



<https://www.nounavi-aomori.jp/start>



青森県農地情報サイト

(主なコンテンツ)

- 県内市町村・農業委員会が把握する、売りたい、貸したい農地の情報検索



<https://www.nounavi-aomori.jp/nouchi/>



企業の農業参入支援ページ

(主なコンテンツ)

- 企業の農業参入までの流れ
- アドバイザー派遣
- 参入事例紹介



<https://www.nounavi-aomori.jp/start/kigyoku>



農林水産業関係のWebサイト

あおもり産品情報サイト

「青森のうまいものたち」

「注目の商品」や「産地情報」、「あおもり産品販売店」の情報



<https://www.umai-aomori.jp/>

食産業支援情報

食産業関連の補助事業や取組などの情報提供



<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/brand/>

青い森からの贈り物

～青森の森林・林業～

青森の森林・林業に関する情報や、青い森林業アカデミーの情報



<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/rinsei/aomorisinringyo.html>

農林水産部職員による魅力発信

あおももの！-青森のもののすごい農林水産業-



(主な活動内容)

青森県の農林水産業の魅力を発信することで、農林水産業の新規就業者や関係人口増加につなげるため、県庁職員自らが作成した1分程度の短い動画を、YouTube・Instagramに投稿しています。

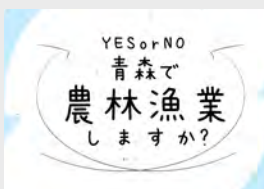
その他の活動

○VR体験ブースの出版



VRを活用し、普段は体験する機会の少ない農林水産業の作業を疑似体験していただくことで、農林水産業の魅力を発信しています。

○デジタルサイネージ



県内4か所のデジタルサイネージで農林水産業のPR動画配信を行っています。

↓↓チャンネル登録はコチラから↓↓

YouTube



Instagram



普及指導拠点

県内の各農林水産事務所が生産者等に対して、普及指導を行っています。



東青農林水産事務所

農業普及振興室

〒030-0861 青森市長島二丁目10-3
TEL 017-734-9961 FAX 017-734-8305

青森水産事務所

〒030-0901 青森市港町二丁目22-4
TEL 017-741-2520 FAX 017-741-2521

西北農林水産事務所

農業普及振興室

〒037-0046 五所川原市栄町10
TEL 0173-35-5719 FAX 0173-34-1345

農業普及振興室つがる分室

〒038-3146 つがる市木造桜木9-1
TEL 0173-42-2222 FAX 0173-42-2272

つがる広域家畜保健衛生所

〒038-3146 つがる市木造桜木9-1
TEL 0173-42-2222 FAX 0173-42-2272

鱒ヶ沢水産事務所

〒038-2761 鱒ヶ沢町大字舞戸町市鳴戸384-37
TEL 0173-72-4300 FAX 0173-72-7251

下北農林水産事務所

農業普及振興室

〒035-0073 むつ市中央一丁目1-8
TEL 0175-22-2685 FAX 0175-22-3212

むつ家畜保健衛生所

〒035-0072 むつ市金谷2丁目18-25
TEL 0175-22-1254 FAX 0175-22-1259

むつ水産事務所

〒035-0073 むつ市中央一丁目1-8
TEL 0175-22-9732 FAX 0175-22-8626

上北農林水産事務所

農業普及振興室

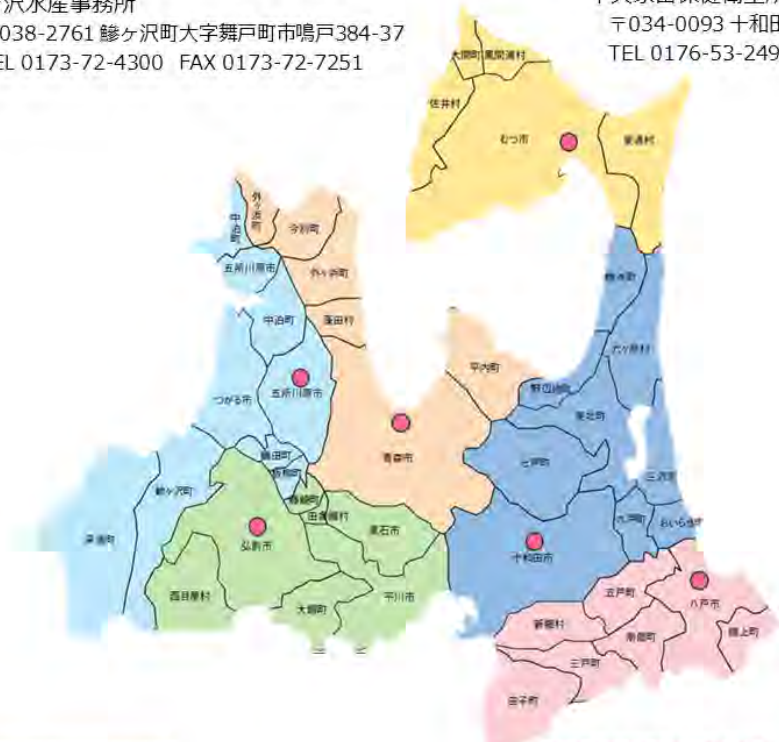
〒034-0093 十和田市西十二番町20-12
TEL 0176-23-4281 FAX 0176-25-7242

農業普及振興室三沢分室

〒033-0024 三沢市東岡三沢一丁目1-7
TEL 0176-23-6235 FAX 0176-23-3044

中央家畜保健衛生所

〒034-0093 十和田市西十二番町19-23
TEL 0176-53-2498 FAX 0176-53-8539



中南農林水産事務所

農業普及振興室

〒036-8345 弘前市大字蔵主町4
TEL 0172-33-2902 FAX 0172-34-4390

農業普及振興室黒石分室

〒036-0522 黒石市田中82-9 (農林総合研究所内)
TEL 0172-52-4335 FAX 0172-53-4114

三八農林水産事務所

農業普及振興室

〒039-1101 八戸市大字尻内町鴨田7
TEL 0178-27-4444 FAX 0178-27-3323

農業普及振興室三戸分室

〒039-0134 三戸町同心町字同心町平54-7
TEL 0179-23-3264 FAX 0179-23-3274

八戸家畜保健衛生所

〒039-1101 八戸市大字尻内町毛内清水7-2
TEL 0178-27-7415 FAX 0178-27-7418

八戸水産事務所

〒039-1161 八戸市大字河原木字北沼1-131
TEL 0178-21-1185 FAX 0178-20-1108

地方独立行政法人青森県産業技術センターの取組

地方独立行政法人青森県産業技術センターは、工業・農林・水産・食品加工の4つの研究部門が一体となった試験研究機関です。

新たな技術や製品開発、地域の生産者や企業のニーズに応じた研究、分析・試験・調査、技術相談・指導のほか、各種研究会、講演会等で技術情報を提供しています。



工業部門

県内の企業が抱える技術的な課題の解決に向けた技術相談、機器貸出し、依頼試験等による支援に加え、ものづくりの各分野における研究開発などを行っています。

工業総合研究所、弘前工業研究所、八戸工業研究所



6種類のロボット操作を体験できる試験室

農林部門

水稻、ながいも、りんご、きのこなどの新品種の育成、肉用牛の基幹種雄牛や特産地鶏など家畜の改良、農林産物の高品質・安定生産や森林の管理技術の研究などを行っています。

農林総合研究所、野菜研究所、りんご研究所、畜産研究所、林業研究所



水稻新品種「はれわたり」

水産部門

海や川・湖における漁場環境、資源管理、漁業管理技術、栽培漁業・養殖技術の調査・研究などを行っています。

水産総合研究所、内水面研究所



陸上養殖した高級カレイ「マツカワ」

加工部門

県産農林水産物を生かした加工品の研究開発のほか、加工グループ、企業に対する技術普及や指導などを行っています。

食品総合研究所、下北ブランド研究所、農産物加工研究所



非破壊計測によるブリの脂質測定

農林水産業の姿関係

土地利用(令和6年)

単位:ha

区分	964,511	(100%)
農地	147,300	(15%)
森林	633,725	(66%)
その他	183,486	(19%)

出典:全国都道府県市町村別面積調、作物統計調査
青森県森林資源統計書

農業産出額及び食料品・飲料等製造業の出荷額 単位:億円

区分	農業産出額	食料品・飲料等 製造業の出荷額
令和2年	3,262	5,064
3年	3,277	—
4年	3,168	—
5年	3,466	—
6年	4,119	—

出典:生産農業所得統計、青森県の工業

県内総生産(令和5年度)

区分	生産額
県全体	46,244億円
農林水産業	2,113億円
農業	1,767億円
森林	31億円
水産業	315億円

出典:青森県県民経済計算

農産物(令和6年)

区分	作付面積	生産量	産出額
米	42,400ha	264,200t	955億円
りんご	19,800ha	370,500t	1,171億円
特産果樹	—	—	62億円
野菜	13,594ha	347,618t	783億円
花き	48ha	9,204 (千本、千鉢)	9億円
工芸作物	—	—	16億円
その他	—	—	18億円
計	—	—	3,036億円

出典:農林水産省統計より作成、花きは県農産園芸課

畜産物(乳用牛、肉用牛:令和7年2月1日現在 豚、鶏:令和6年2月1日現在)

区分	飼養頭羽数	産出額(6年)
乳用牛	11,500頭	95億円
肉用牛	51,700頭	171億円
豚	334,800頭	313億円
鶏	4,902千羽(採卵鶏:成鶏めす) 7,639千羽(ブロイラー)	493億円
その他	—	10億円
計	—	1,083億円

出典:畜産統計、生産農業所得統計

林産物(令和6年)

区分	生産量	産出額
木材	922千m ³	98億円
きのこ	503t	4億円
その他林産物	—	1億円
計	—	103億円

出典:青森県特用林産物生産調査、木材需給報告書、
県林政課

水産物(海面)(令和6年属人)

区分	生産量(漁獲量+収穫量)	産出額(6年)
ホタテガイ	31,342t	84億円
イワシ類	13,554t	9億円
イカ類	9,876t	92億円
タラ類	8,020t	14億円
マグロ類	4,365t	200億円
その他	23,976t	47億円
計	91,133t	446億円

出典:漁業・養殖業生産統計

米関係

米の作付面積と収穫量

区分	作付面積 (ha)	10a当たり 収穫量 (kg)	収穫量 (t)	作況指数
令和5年	40,500	614	248,700	102
6年	42,400	623	264,200	103
7年	43,700	619	270,500	101

※令和7年は作況単収指数

出典：農産物統計

米の作付品種の検査数量及び等級割合(令和7年産)

区分	検査数量 (t)	1等比率(%)
まっしぐら	140,142	91.6
青天の霹靂	7,692	97.5
はれわたり	22,294	93.2
その他	2,005	—
計	172,133	92.0

※検査数量及び1等米比率(水稻うるち米)は、令和7年10月末現在

出典：農林水産省

畑作物関係

主な畑作物の作付面積

単位:ha

区分	大豆	小麦	葉たばこ	そば	なたね
令和4年	5,390	733	336	1,750	177
5年	5,530	801	314	1,780	144
6年	5,640	747	299	1,740	135
6年収穫量(t)	7,730	2,130	770	835	298

出典：作物統計(葉たばこ除く)、葉たばこは青森県たばこ耕作組合

野菜関係

主な野菜の作付面積

単位:ha

区分	野菜作付 面積	だいこん	ながいも	にんじん	ねぎ	ばれいしょ	にんにく	ごぼう	メロン	トマト
令和4年	14,871	2,700	2,220	1,180	490	606	1,420	2,340	407	358
5年	14,068	2,640	2,120	1,190	487	537	1,420	2,320	367	357
6年	13,594	2,500	2,070	1,150	492	470	1,420	2,300	331	354

出典：野菜生産出荷統計※トマトはミニトマト、加工用含む

りんご関係

りんごの栽培面積

区分	栽培面積 (ha)	わい化栽培 (%)	有袋栽培 (%)
令和4年産	20,300	24.9	17.8
5年産	20,200	25.2	15.4
6年産	19,800	25.6	14.4

出典：農林水産省統計、県りんご果樹課

りんごの生産量

単位:t

区分	生産量	出荷量	輸出力 (全国)
令和4年産	439,000	398,600	42,224
5年産	374,400	340,000	30,849
6年産	370,500	338,000	30,202

出典：農林水産省統計、財務省貿易統計

特産果樹関係

特産果樹と栽培面積

単位:ha

区分	ぶどう	西洋なし	もも
令和4年産	419	138	151
5年産	410	148	177
6年産	402	128	159

出典：耕地及び作付面積統計

特産果樹の収穫量

単位:t

区分	ぶどう	西洋なし
令和4年産	3,260	1,870
5年産	3,190	1,480
6年産	3,170	1,790

出典：果樹生産出荷統計

花き関係

花きの主な品目の作付面積(令和6年) 単位:a

品目	面積
キク	1,153
トルコギキョウ	581
ケイオウザクラ	514
ヒマワリ	279
アルストロメリア	196
カンパニュラ	111
デルフィニウム	25

出典:県農産園芸課

畜産関係

特産地鶏「青森シャモロック」生産羽数 単位:羽

区分	生産羽数
令和4年	37,425
5年	29,693
6年	33,725
7年	26,465

出典:県畜産課

公共牧場における放牧状況

区分	公共牧場	草地面積	放牧頭数
令和5年	87か所	5,890ha	2,935頭
6年	86か所	5,824ha	2,737頭

出典:県畜産課

主要家畜の飼養頭羽数

区分	乳用牛 (頭)	肉用牛 (頭)	肉用種	乳用種・ 交雑種	豚 (頭)	採卵鶏 ※千羽 (成鶏メス)	ブロイラー ※千羽
令和5年	12,400	57,100	32,090	25,100	356,300	3,635	6,905
6年	11,100	55,500	32,900	22,600	334,800	4,902	7,639
7年	11,500	51,700	31,400	20,300	—	—	—

出典:農林水産統計年報、畜産統計

森林・林業関係

木材の素材生産量

単位:千m³

区分	計	針葉樹					広葉樹
		小計	アカマツ クロマツ	スギ	カラマツ	その他	
令和4年	1,152	1,115	116	957	32	10	37
5年	908	860	105	718	28	9	48
6年	922	899	82	764	27	26	23

出典:農林水産省木材統計、県林政課

きのこ類生産量

単位:t

区分	生しいたけ	なめこ	えのきたけ	まいたけ	ひらたけ	あらげきくらげ	その他	計
令和4年	206	185	0	10	0	34	0	434
5年	218	232	0	10	0	38	3	501
6年	219	228	0	9	0	45	2	503

出典:青森県特用林産物統計

その他特用林産物の生産量

区分	くり(t)	くるみ(t)	わさび(t)	ひば油(ℓ)	木炭(t)	木酢液(ℓ)
令和4年	10	2	1	10,800	23	1,533
5年	14	1	1	11,200	21	1,570
6年	17	2	1	11,200	38	3,412

出典:青森県特用林産物統計

水産業関係

海面漁業・養殖業の生産量・産出額(令和6年)

区分	生産量(t)	産出額(億円)
海面漁業・養殖業	91,133	446
海面漁業	57,019	347
養殖業	34,114	99
内水面漁業・養殖業	3,172	-

出典:漁業・養殖業生産統計

養殖生産(令和6年) 単位:t

種類	生産量
ホタテガイ	31,263
ニジマス	2,637
ワカメ類	42
ホヤ類	4
その他	-

出典:青森県海面漁業に関する調査結果書(ニジマスのみ)

出典:漁業・養殖業生産統計

栽培魚種(令和6年) 単位:t

種類	生産量
ヒラメ	1,154
ナマコ類	944
ウニ類	378
サケ類	106
アワビ類	23

出典:漁業・養殖業生産統計

農林水産業の担い手関係

農業経営体の構成

単位:経営体

区分	農業経営体	個人経営体	団体経営体	
				うち法人
令和2年	29,022	28,232	790	646
令和7年	23,212	22,419	793	641
増減数	△5,810	△5,813	3	△5
増減率	△20.0%	△20.6%	0.4%	0.8%

出典:農林業センサス

林業経営体の推移

単位:経営体

区分	林業経営体
令和2年	678
令和7年	406
増減数	△272
増減率	△40.1%

出典:農林業センサス

水産業経営体の構成

単位:経営体

区分	水産業経営体	個人経営体	団体経営体	
				うち法人
平成30年	3,702	3,567	135	48
令和5年	3,116	3,024	92	47
増減数	△586	△543	△43	△1
増減率	△15.8%	△15.2%	△31.9%	△2.1%

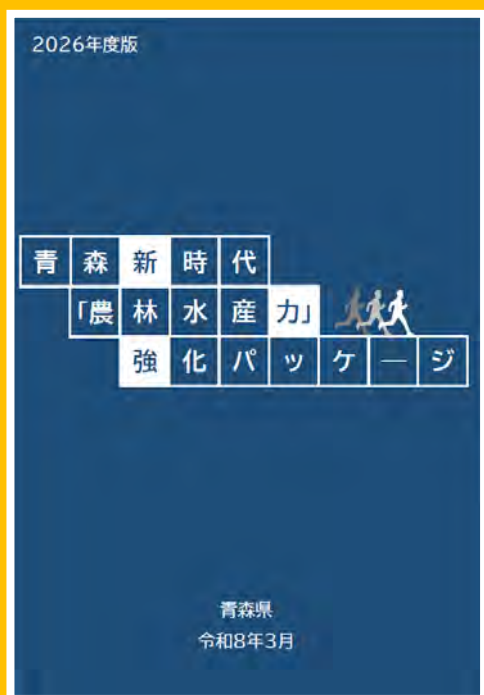
出典:漁業センサス

基幹的農業従事者数及び平均年齢(令和7年)

単位:人

区 分	合 計	性別		年齢別				平均年齢
		男 性	女 性	15～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	
青 森 県	38,142	22,206	15,936	5,489	4,701	3,941	24,011	65.8歳
全 国	1,036,228	659,332	376,896	130,125	99,790	85,002	721,311	67.7歳
青森県割合	100.0%	58.2%	41.8%	14.4%	12.3%	10.3%	63.0%	
全国割合	100.0%	63.6%	36.4%	12.6%	9.6%	8.2%	69.6%	
全国差(ポイント)		△5.4	5.4	1.8	2.7	2.1	△6.6	

出典:2025年農林業センサス



「農林水産業が持続的に発展する社会」の実現に向けて、農林水産分野の具体的な取組をまとめた

青森新時代「農林水産力」強化パッケージ

令和6年4月からスタート



表紙の写真

- ①黒毛和種の放牧
- ②大漁旗を掲げる漁船
- ③県庁前庭りんご
- ④秋空の稲穂



令和8年6月

発行 青森県農林水産部農林水産政策課
〒030-8570 青森市長島一丁目1番1号
TEL(代表)017-722-1111(内線4981)
(直通)017-734-9457

FAX 017-734-8133

E-mail:nosui@pref.aomori.lg.jp

県庁HP <https://www.pref.aomori.lg.jp>



「農林水産力」強化パッケージ

農林水産力

検索



あおりの農林水産業

あおりの農林水産業

検索